

カスケード接続について

カスケード接続時の注意

- 本機のカスケード機能を使うことにより、複数のDR-680のフロントパネルの**REC**、**PAUSE**キー、トップパネルの**STOP**、**PLAY/PAUSE**キー操作を同時にコントロールすることができます。上記以外のキー操作によるコントロールや、内部設定は各機器で行ってください。
- カスケード機能がオンのときは、オートレック機能は動きません。オートレックがオンのときにカスケード機能をオンにすると、オートレック機能が自動的にオフになります。このとき、カスケード機能をオフにしても、オートレック機能はオフのままです。カスケード機能をオフにしたときは、必要に応じて、オートレック機能を再度オンにしてください。
- カスケード機能を使う場合は、マスター機とスレーブ機において、“**REC**”メニューの“**PAUSE**”項目を同じ設定にしてください。この設定がマスター機とスレーブ機で異なっている場合は、録音一時停止後の動作が一致せず、トランスポートのコントロールが正しく行われません。
- 録音に使用しているカードの種類がマスター機とスレーブ機で異なる場合は、“**REC**”メニューの“**PAUSE**”項目が“**NEW TAKE**”に設定されているときに、フロントパネル“**REC**”キー操作で録音開始が同時に行われません場合があります。マスター機とスレーブ機で異なる種類のカードを使用していたり、マスター機とスレーブ機で録音ファイルフォーマット、サンプリング周波数が異なっていると、それぞれの機器において処理時間が異なるためです。正しくカスケード録音を行うためには、マスター機とスレーブ機のカードを同じ種類にする、マスター機とスレーブ機の録音ファイルフォーマット、サンプリング周波数を同じにする、あるいは、録音一時停止後、十分に時間をおいてから、“**REC**”キーを押して録音を開始してください。
- カスケード動作を行う場合は、マスター機、スレーブ機ともホーム画面を表示させておいてください。メニュー表示のままだと、正しくカスケード動作することができません。
- 再生時のカスケード動作は、録音したテイクの確認用途を目的としています。同期再生を保証するものではありません。

カスケード操作の準備

1. マスター機の**DIGITAL/SYNC OUT**端子と、スレーブ機の**DIGITAL SYNC IN**端子を接続します。
2. マスター機とスレーブ機で、以下のメニュー設定を行います。
 - **RECメニュー**
 - **FORMAT**項目：
マスター機、スレーブ機とも、同じ設定にすることをお勧めします。
 - **SAMPLE**項目：
マスター機、スレーブ機とも、同じ設定にすることをお勧めします。
 - **PAUSE**項目：
マスター機、スレーブ機とも、必ず同じ設定にしてください。

■ **I/Oメニュー**

- **INPUT SEL**項目：
マスター機、スレーブ機とも、“**ANALOG**”に設定します。

■ **PLAYメニュー**

- **AREA**項目：
カスケード再生を行う場合は、マスター機、スレーブ機とも、必ず同じ設定にしてください。

■ **SYSTEMメニュー**

- **CASCADE**項目：
マスター機は“**MASTER**”、スレーブ機は“**SLAVE**”に設定します。

■ **ファンクションメニュー**

- **REPEAT**項目：
カスケード再生を行う場合は、マスター機、スレーブ機とも、必ず同じ設定にしてください。
- **PRE.REC**項目：
マスター機、スレーブ機とも、必ず同じ設定にしてください。

3. マスター機、スレーブ機とも**HOME**キーを押して、ホーム画面を表示します。

4. マスター機、スレーブ機とも**STOP**キーを押して、停止状態にします。

カスケード録音する

停止中にフロントパネルの**REC**キーを押すと、マスター機、スレーブ機ともに録音を開始します。

録音中にトップパネルの**STOP**キーを押すと、マスター機、スレーブ機ともに録音を停止します。

フロントパネルの**PAUSE**キーを押すと、マスター機、スレーブ機ともに録音を一時停止します。

一時停止中にフロントパネルの**REC**キーを押すと、録音を再開します。

一時停止中に**PAUSE**キーまたは**STOP**キーを押すと、録音を停止します。

カスケード再生する

停止中にトップパネルの**PLAY/PAUSE**キーを押すと、マスター機、スレーブ機ともに、現在位置から再生を開始します。

再生中に**PLAY/PAUSE**キーを押すと、マスター機、スレーブ機ともに、現在の位置で一時停止します。

カスケード操作を止める

“**SYSTEM**”メニューの“**CASCADE**”項目設定を“**OFF**”にします。